

資料 4

火山地域における噴気等調査ワーキンググループ活動経過

●平成18年6月12日

火山噴火予知連絡会幹事会において、火山地域における噴気等についての検討を行うためのワーキンググループの設置を提案（以下）し、承認された。

火山地域における噴気地についての検討

1 目標

全国の活火山の周辺地域において、地熱、火山ガス発生の有無について、過去も含め調査する。その場合、噴気・地熱の認められていない地域もできるだけ特定する。その上で、地熱、火山ガス発生の事象がある噴気地において、

- ① 地熱、火山ガスの発生地点の分布図を統一的な形式で作成
- ② 火山ガスに関するこれまでの調査結果（放出量、組成、温度など）のまとめ
- ③ 立ち入り禁止規制等の防災対策の現状
- ④ 事故等の過去事例

をとりまとめてデータベースを作成し、活火山総覧の付録（追補版）として発行する。

このデータベースはその時の状況にあった更新・追加が重要となる。

2 方法

当面、活火山WGにおいての検討資料と産業技術総合研究所の調査資料をもとに、今後の調査内容・方法などについて検討する。その検討結果をもとに、必要に応じ、周辺自治体や関係機関に協力を依頼し、調査を進めていく予定。

3 ワーキンググループの構成（案）

平林	順一	幹事（座長）
藤井	敏嗣	会長
篠原	宏志	委員
森	俊哉	委員
横田	崇	委員
山里	平	

以上はコアメンバーとし、必要に応じ、座長は、その他の委員及び臨時委員、委員以外の学識経験者等の出席を求めることができる。

年2回程度の開催を予定。

●7月19日

第1回火山地域における噴気等調査ワーキンググループ会合開催（→本号に議事録を掲載）

議題 1) ワーキンググループ設置目的と検討内容について

- ・趣旨説明
- ・これまでの調査事例紹介

2) 当面の作業について

- ・収集する資料や必要な調査について議論

●7月～10月

- ・草津白根山と秋田焼山についてデータベースひな形を作成
既存資料だけで、どのようなデータベースができるかのテストケース
- ・委員への意見照会を経て全国レベルにするための基礎的な調査実施を決定。

●11月14日

第105回火山噴火予知連絡会にて検討状況を中間報告。